

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	観光交流基盤整備事業				事業類型	☒ 産業振興 ☐ 定住促進 ☐ その他	
担当部課名	経済課	現年事業または繰越事業	☐ 現年事業 ☒ 繰越事業	事業実施 (予定)年度	平成29 ～ 令和2年度		
事業内容	村所有の宿泊施設ハマユウ荘の新館を整備する。						
	先進性等に係る取組	☒ 自立性	☒ 政策間連携	☒ 離島活性化を担う人材の確保・育成	そ の 他		
		☐ 官民協働	☒ 事業推進主体の形成	☐			
☐ 離島地域特有の条件不利性に起因するもの							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2(繰越)
		当初予算額	31,342		173,000	241,896	-
		増減額	0		0	0	-
		予算現額	31,342		173,000	241,896	-
		前年度から繰越	-		-	-	241,896
		翌年度へ繰越	-		-	241,896	-
		計(A)	31,342		173,000	0	241,896
		執行済額(B)	30,024		172,638	0	237,526
		うち補助金充当額	24,019		134,644	0	190,019
		不用額	1,318		362	0	4,370
		執行率(%) (B/A)	95.8%		99.8%	0.0%	98.2%
		予算の状況の説明	令和3年1月の県による緊急事態宣言や本村独自の来島自粛要請により、島外からの労働者を確保できなくなったため、工事に不測の日数を要し、241,896千円を令和3年度に繰越を行った。 不用額の4,370千円については入札残によるものである。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	新館の整備工事 の完了	目 標	1件	-	1件	1件	-
		実 績	1件	-	1件	-	1件
	達成 状況 説明	○新館の整備工事の完了について、沖縄県内での新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和3年1月の県による緊急事態宣言や本村独自の来島自粛要請により、島外からの労働者を確保できなくなったため、年度内事業完了が困難となったが、感染状況の落ち着いた時期を見て業務を行い令和3年6月に工事完了となった。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	R3年度	R4年度	R5年度	後年度目標値 (R7年度)
	年間観光入込客 数	目 標		-	-	-	4,500人
		実 績	954人	385人	1,186人		
	成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	後年度目標値 (R3年度)
	新規雇用の増加	目 標		-	-	-	7人
		実 績	0人	0人	1人	2人	2人
	進捗 状況 説明	○入域観光客数については、前年度から増加(801人)した。 ※島の観光入込客数は沖縄県地域・離島課の「離島関係資料」の公表時期の関係上、直近の数値は令和4年度(令和4年3月～令和5年2月)である。 ○新規雇用の増加を成果目標とし、令和3年度までに7人の増加を目指していたが2人の増加にとどまった。					

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○「年間観光入込客数」 ・令和3年度から令和4年度にかけて入域観光客数が増加した要因としては、新型コロナウイルスの分類が5類に引下げになったことに伴うものとする。 ○「新規雇用の増加」 ・新たな雇用を生み出すにあたり住宅不足が課題となった。 ・村内でどのような人材が何名不足しているかを把握することが課題となった。	○「年間観光入込客数」 ・アフターコロナで増加した観光入込客がもう一度訪れたいと思うような島づくりが必要。 ○「新規雇用の増加」 ・新たな住宅供給が必要。 ・あらかじめどのような人材が必要なのかリストアップすることが必要。
今後の取り組み方針		
○「年間観光入込客数」 ・新型コロナウイルス感染拡大防止期間に国の史跡に指定された「北大東島燐鉱山遺跡」や、国指定重要文化的景観に指定された「北大東島の燐鉱山由来の文化的景観」等、北大東島でしか体験できないを観光に取り入れリピーターの増加を目指す。 ○「新規雇用の増加」 ・本補助金を活用した別事業である「農業・観光業新規就業者用定住住宅確保事業」にて定住住宅の整備を行った。 ・ウィズコロナやアフターコロナに向けての観光需要増加に向けて(株)黄金山が主体となって、人材確保する体制づくりを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																	
<table><tr><th>総事業費</th><th>補助対象事業費</th><th>補助金充当額</th><th>市町村負担額</th><th>補助対象外経費</th></tr><tr><td>237,526</td><td>237,526</td><td>190,019</td><td>47,507</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担額	補助対象外経費	237,526	237,526	190,019	47,507	0			
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担額	補助対象外経費													
237,526	237,526	190,019	47,507	0													
<table><tr><td rowspan="3">北大東村 237,526千円</td><td>委託料 6,435千円</td><td>(株)国建6,435千円</td><td colspan="2">(北大東村観光交流施設拡充整備 工事管理委託業務(令和2年度分))</td></tr><tr><td>工事請負費 222,920千円</td><td>(株)与儀組222,920千円</td><td colspan="2">(北大東村観光交流施設拡充整備 工事(令和2年度分))</td></tr><tr><td>備品購入費 8,171千円</td><td>(有)文正堂8,171千円</td><td colspan="2">(令和2年度観光交流施設備品購 入設置業務)</td></tr></table>					北大東村 237,526千円	委託料 6,435千円	(株)国建6,435千円	(北大東村観光交流施設拡充整備 工事管理委託業務(令和2年度分))		工事請負費 222,920千円	(株)与儀組222,920千円	(北大東村観光交流施設拡充整備 工事(令和2年度分))		備品購入費 8,171千円	(有)文正堂8,171千円	(令和2年度観光交流施設備品購 入設置業務)	
北大東村 237,526千円	委託料 6,435千円	(株)国建6,435千円	(北大東村観光交流施設拡充整備 工事管理委託業務(令和2年度分))														
	工事請負費 222,920千円	(株)与儀組222,920千円	(北大東村観光交流施設拡充整備 工事(令和2年度分))														
	備品購入費 8,171千円	(有)文正堂8,171千円	(令和2年度観光交流施設備品購 入設置業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明														
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託料及び工事請負費については指名競争入札を行っており妥当と考える。														
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、3社見積りにより行った。不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であったと考えられる。														
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。														